様式2

都市再生整備計画事業　事後評価シート
歴史と和のまち・太子交流拠点地区

平成29年12月

兵庫県太子町

様式２－１　評価結果のまとめ

都道府県名	兵庫県	市町村名	太子町	地区名	歴史と和のまち・太子交流拠点地区		面積	82.3ha
	平成24年度～平成28年度	事後評価実施時期	平成29年度	交付対象事業費	810百万円	国費率	0.4	

1）事業の実施状況

		事業名
当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	町道鵤旧国道線、地域生活基盤施設（交流広場、情報板）、高質空間形成施設（歩道美装化）、高次都市施設（地域交流センター）
	提案事業	地域創造支援事業（斑鳩公民館改修事業、中央公民館解体移転事業）、事業活用調査（事業効果分析調査）、まちづくり活動推進事業（景観形成ワークショップ開催支援）

		事業名	削除/追加の理由	削除/追加による目標、指標、数値目標への影響
当初計画から削除した事業	基幹事業			
	提案事業			
新たに追加した事業	基幹事業	地域生活基盤施設（地域防災施設）	中心市街地を支える防災まちづくりを推進するため	目標・指標数値等を変更するほどの影響はない
	提案事業			

交付期間の変更			交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響
	当　初	平成24年度～28年度	
	変　更	なし	

2）都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況

	指　標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数　値 モニタリング	数　値 評価値	目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因（総合所見）	フォローアップ予定時期
指標1	歩行者ネットワークの満足度		/5点	2.33	H21	3.10	H28	－	2.86	△	あり／なし	道路整備や情報板設置、歩道美装化のほか、歩行者ネットワークの拠点となる交流広場、地域交流センターなどが整備されたことにより、歩行者ネットワークは着実に充実し、満足度の向上が図られたが、若干目標値に達しなかった。	なし
指標2	特産品直売所の箇所数		箇所	1	H23	3	H28	－	3	○	あり／なし	地域交流センターおよび交流広場の整備により、特産品直売所の適正確保が図られた。また、道路整備等によるアクセス性の向上により、特産品直売所立地ポテンシャル向上が図られた。	なし
指標3	主要公共施設の耐震化率		%	44	H23	75	H28	－	75	○	あり／なし	新庁舎建設や斑鳩公民館改修事業などにより、着実に耐震化率の向上が図られた。また、地域防災施設の整備により、防災基盤の充実も図られた。	なし

3）その他の数値指標（当初設定した数値目標以外の指標）による効果発現状況

	指　標	単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数　値 モニタリング	数　値 評価値	目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因（総合所見）	フォローアップ予定時期
その他の数値指標1												
その他の数値指標2												

4）定性的な効果発現状況

特になし。

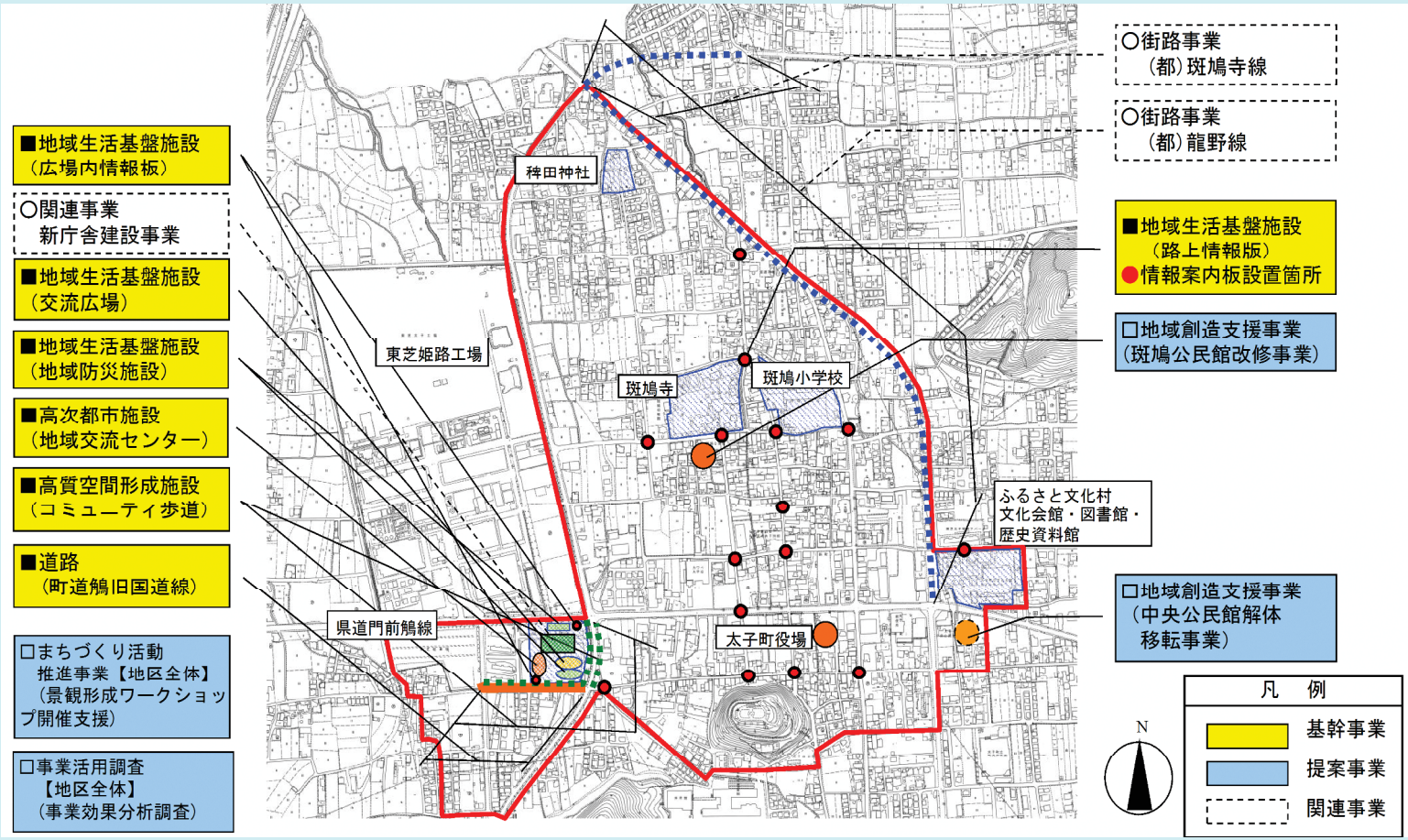
5）実施過程の評価

	実施内容	実施状況		今後の対応方針等
モニタリング	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた		
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		
住民参加プロセス	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた		
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		
持続的なまちづくり体制の構築	住民参加による持続的なまちづくり活動	都市再生整備計画に記載し、実施できた	●	持続的な活動の維持
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		

様式２－２　地区の概要

歴史と和のまち・太子交流拠点地区（兵庫県太子町）都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標：斑鳩寺を中心とした歴史拠点と文化拠点、交流拠点の連携による「和のまち太子」の都市拠点づくり	歩行者ネットワークの満足度	単位：/5点	2.33	H21	3.10	H28	2.86	H28
目標1　歴史・文化交流拠点を結ぶ魅力ある歩行者ネットワークのあるまち	特産品直売所の箇所数	単位：箇所	1	H23	3	H28	3	H28
目標2　太子の情報発信と交流による賑わいのあるまち	主要公共施設の耐震化率	単位：%	44	H23	75	H28	75	H28
目標3　中心市街地を支える防災まちづくりによる安心・安全なまち								



■地域生活基盤施設（交流広場）

■高次都市施設（地域交流センター）

■高質空間形成施設　（コミュニティ歩道）

まちの課題の変化	□歩行者空間施設等の整備により歩行者ネットワークが充実し、満足度の向上が図られた。 □特産品直売所の着実な増加と地域交流センター、情報板等の整備により、情報発信および交流の場の充実が図られた。 □防災広場および地域防災施設の整備などにより、防災機能の向上と安心して利用できる施設確保が実現した。
今後のまちづくりの方策（改善策を含む）	□情報発信・交流の場の効果的活用　→　整備した施設の継続的な有効活用を図るための取組みを実施【○交流イベント等開催○特産品直売所活性化（有効活用）】 □防災施設などの効果的活用　→　防災施設等の整備に合わせた防災体制充実のための取組みを実施【○防災活動等】 □歩行者空間の維持・向上（満足度の更なる向上）　→　交通安全活動や歩行者空間の環境維持・向上を図るための取組みを継続して実施【○歩行者空間美化活動等○交通安全活動・まちあるきイベント等○歴史的景観形成地区内の参道等の整備】